

複雑な仕組債のリスク・リターン実績について

2026年5月

八十二証券株式会社

本資料は、当社が過去に販売した複雑な仕組債のリスク・リターンの分析結果についてご確認いただける資料となっております。ご投資の際の判断材料として、定期的に公表いたします。

なお複雑な仕組債と比較する例として、過去に当社が販売した米国国債およびコーラブル債について、同じ方法によりリスクとリターンの実績を開示しております。

1. 開示対象

複雑な仕組債	2014年4月以降2026年3月末時点（分析時点）で償還済み、および未償還（発行後6か月未満の銘柄を除く）の公募および私募仕組債で、円建ての日経平均株価連動債および2指数（日経平均株価・S&P500指数）連動債
仕組債	2014年4月以降2026年3月末時点（分析時点）で償還済み、および未償還（発行後6か月未満の銘柄を除く）の公募および私募仕組債で、円建てのコーラブル債
米国国債	2014年4月以降2026年3月末時点（分析時点）で償還済み、および未償還（保有期間が6か月未満の銘柄を除く）の米国国債

※複雑な仕組債について、分析時点で販売可能となっている2銘柄を開示対象とします。

※中途売却を行った場合のリターンは含まれておりません。

2. 開示方法

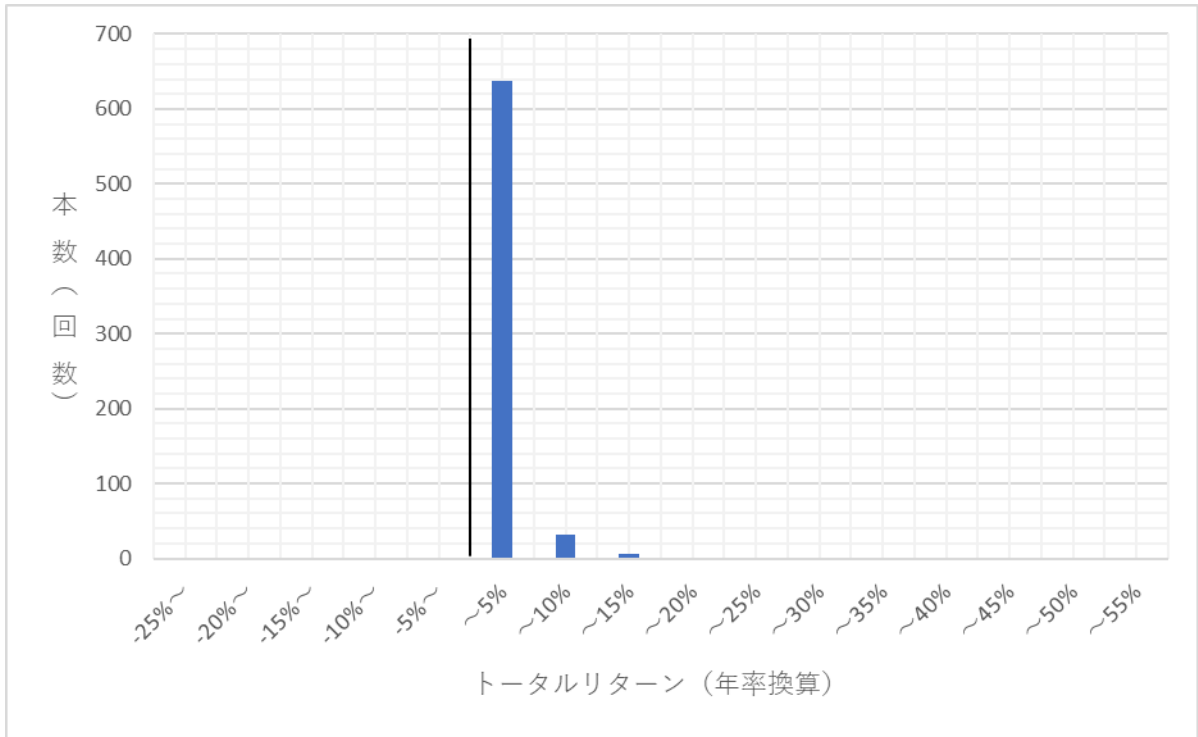
- ・債券の種類別にリスク・リターンのグラフを開示しております。
- ・横軸に各分析対象の年率換算のトータルリターンを一定のレンジで表示、リスクは横軸のトータルリターンのばらつきにより表示しています。

	算出方法
トータルリターン （年率換算）	$(\text{クーポン総額} + \text{元本損益}) \div \text{投資金額} \div \text{投資期間 (年)}$ ※未償還銘柄の元本損益については、分析時点の時価評価を使用して（米国債については円貨換算したうえで）算出するため、償還済銘柄と比較してトータルリターンが小さくなる傾向にあります
本数（回数）	年率換算したトータルリターンによる1年間の投資を何本（回）行うことができたかを示す。 例①：保有期間3年の債券のトータルリターン（年率）が3%の場合、3%に3本（回）分を計上 例②：保有期間3か月の仕組債のトータルリターン（年率）が3%の場合、3%に0.25本（回）分を計上

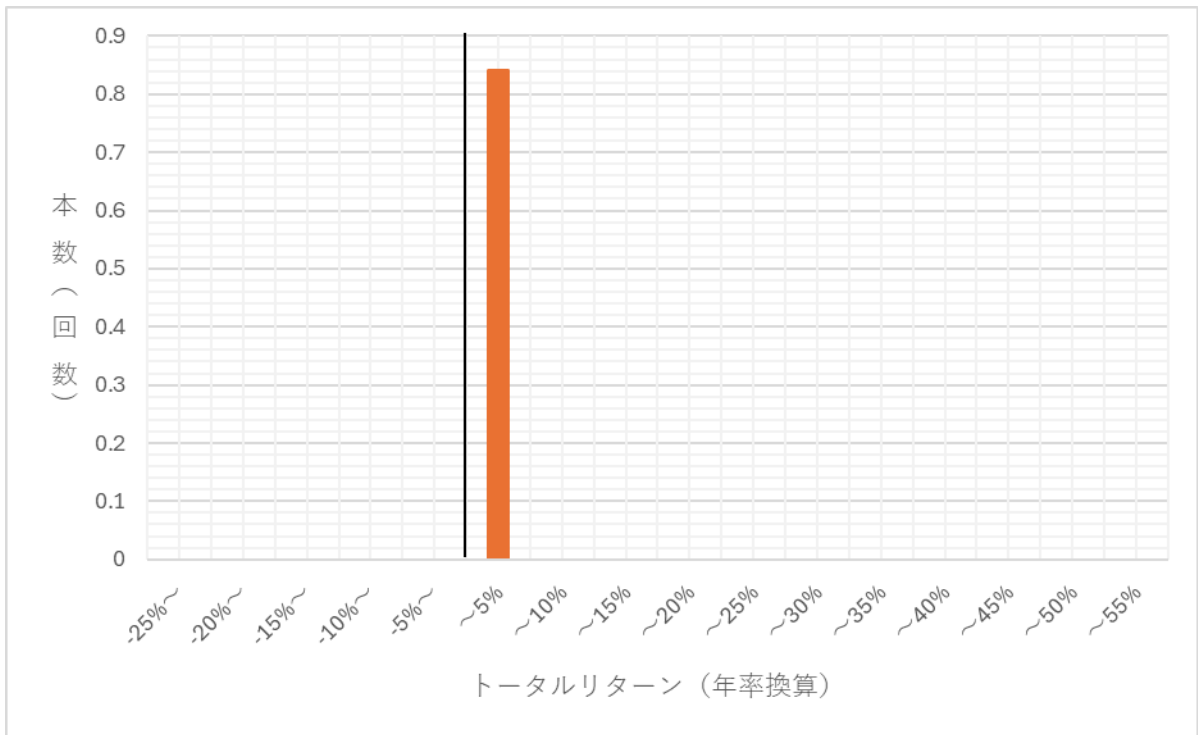
3. ご留意事項

- ・本資料は情報提供を目的として当社が作成したものであり、特定の商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、商品の組成をお約束するものではありません。
- ・本資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載しているグラフは過去の販売実績に基づくものであり、将来のリスクとリターンについて何らの示唆を与えるものではありません。
- ・ご不明な点等ございましたら、お取引店までお問い合わせください。

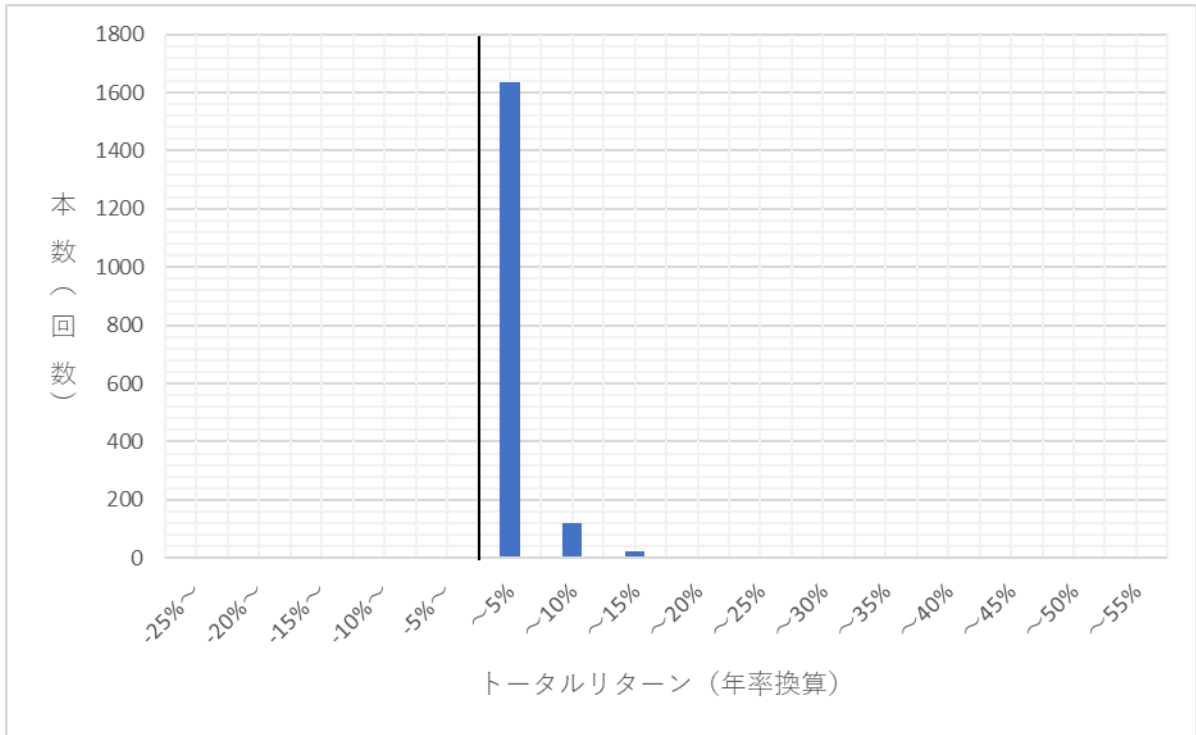
【日経平均株価連動債（償還済 868 銘柄）】



【日経平均株価連動債（未償還 1 銘柄）】



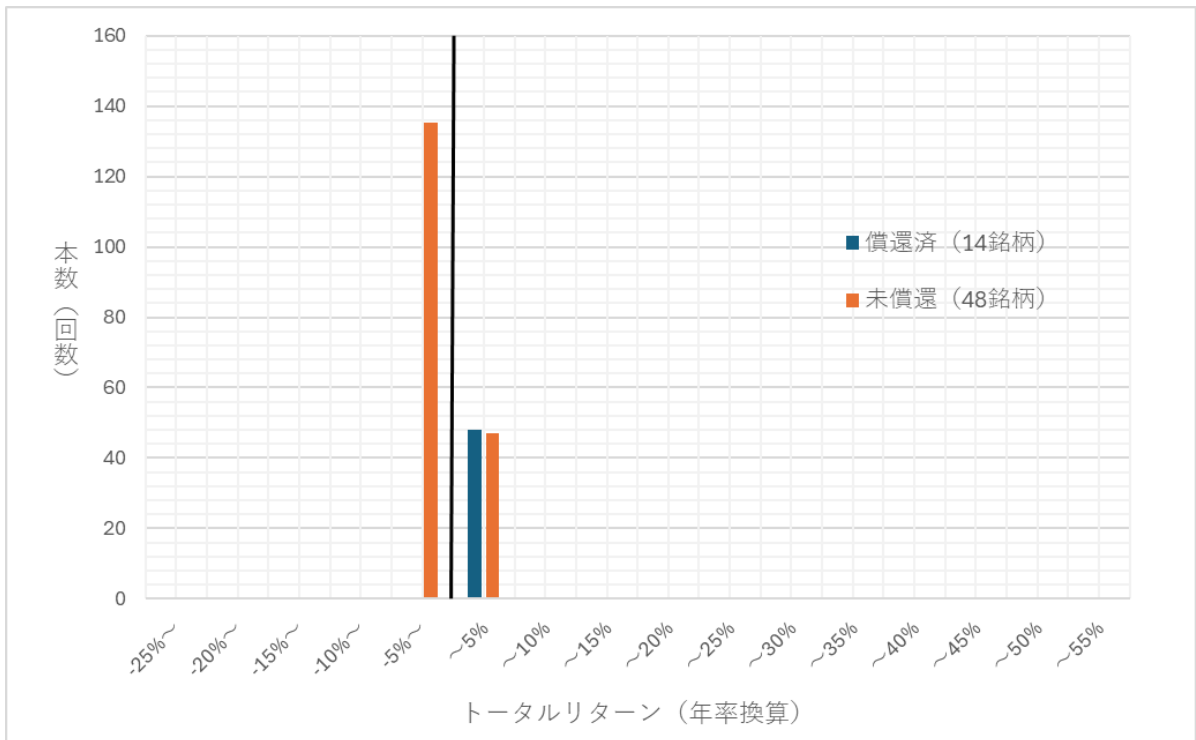
【2 指数（日経平均株価・S&P500 指数）連動債（償還済 1,850 銘柄）】



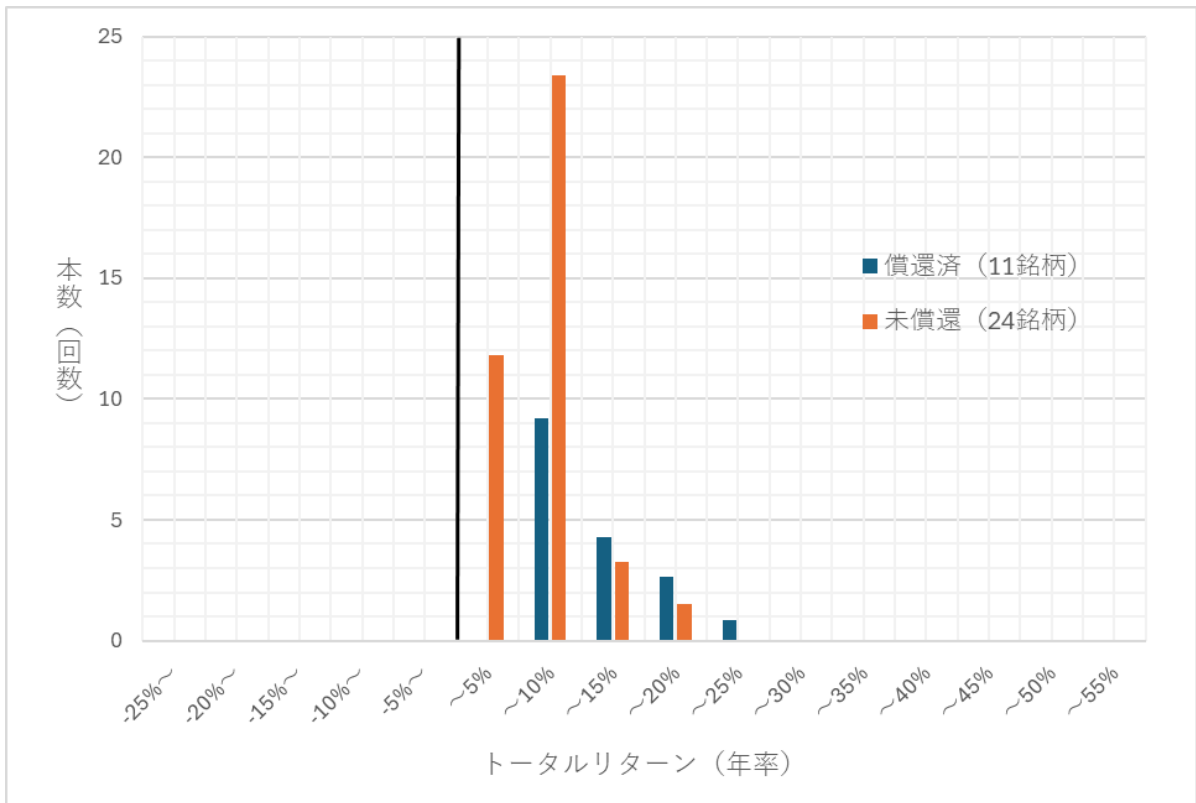
【2 指数（日経平均株価・S&P500 指数）連動債（未償還）】

（該当銘柄なし）

【コーラブル債】



【米国債】



以上